

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標を「差別の現実学び、人権教育を実践する」とし、めざす子ども像を、

- ・ 現実を正しく見つめ、差別を許さない子どもの育成
- ・ 自分のものとして学力をしっかりと身につけて行く子どもの育成
- ・ 一人ひとりをみんなで、みんなのことを一人ひとりが考える集団の育成

と設定し、人権教育を基盤に、一人ひとりの良さや可能性をのばし、「生きる力」を育む教育活動を推進してきた。

社会情勢に目を向けると、子どもたちを取りまく環境は厳しく複雑である。21世紀のグローバル化、ICT化・少子高齢化等の急激な社会状況の変化は、児童や家庭・学校を取り巻く環境に様々な影響をもたらし、将来が予測困難な時代に直面すると危惧される。教育においては、「主体的・対話的で深い学び」を追求するとともに、道徳教育、外国語科・外国語活動、プログラミング教育等、新たな教育課程の充実にも努めなければならない。

このようななか、本校が重点課題として大切にしてきた「学力保障」と「集団の育成」に向けた特色ある取り組みと大阪市教育振興基本計画にある三つの最重要目標に向けた取り組みを一層推進していく。

本校の「授業が変われば子どもが変わる」を合言葉に、真摯に授業改善に取り組んできたことで学力面や生活面での課題は少しずつ改善されてきたが、課題も残る。なかでも、特に深刻な課題は以下である。

- 不登校の問題(教室に入れない、学校に登校しにくい児童等)
- 目の前の課題や困りごとに立ち向かえない(逃避する、責任転嫁する等)
- 学力の課題(基礎基本が定着せず積み重ねが不十分、応用に対応しきれない)
- 生活背景の課題(児童をとりまく生活環境)

これらの課題には、児童の実態をしっかりと捉え、児童に合った教育活動を全教職員ですすめていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 「生活指導に関する調査」における不登校児童の在籍比率を下げる。
- 「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- 「命を大切にすることや友だちを大事にすることについて考えている」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を 40%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。
- 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- 規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う児童の割合を 80%以上にする。
- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。（国語）
- 全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。（算数）

【学びを支える教育環境の充実】

- 「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 70%以上にする。
- 時間外勤務時間について、月 70 時間以上実施する教員をゼロにする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。
- ・校内児童アンケートにおける「命を大切にすることや友だちを大事にすることについて考えている」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を35%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。
- ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。
- ・時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立清水小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 ・校内児童アンケートにおける「命を大切にすることや友だちを大事にすることについて考えている」の項目において、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1-1 いじめへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや差別を許さない心情を育む。 ・人権教育に関わる研修を行うことで、教職員の人権意識を高め、児童理解の充実を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年3回以上人権・平和・仲間づくりについて考える全校集会を行う。 ・月1回以上の児童理解の場を設け共通理解を図る。 ・「心の天気」を通して、児童の実態把握を行い、日々の指導につなげる。（毎日、朝と帰校前の2回の入力。各学年に応じた評価目安を設定。） ・学期に1回のいじめアンケートを通して、いじめを許さない環境づくりを行い、よりよい人間関係の構築に努める。 	
<p>取組内容②【施策1-2 不登校への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校等の原因を把握・分析し、児童に寄り添い、学校との関係を途切れさせない。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、担当教員間で不登校等児童の実態を共有し、担任等と連携する。 ・子サポ会議等を通じて、月1回以上不登校等児童の実態を共有する場を設ける。 ・対象の家庭との定期的な連絡を継続する。 ・児童・保護者との面談を随時実施する。 	

<p>取組内容③【施策2-1 道徳教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活目標や強調週間を設け、子どもたちの規範意識を高める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「気持ちのよいあいさつをする」「時刻を守る」を軸とする環境をつくりあげ、児童の意識を高める。 「みんなのやくそく」を周知し、安全な学校生活をめざす。(教室掲示) 年間1回以上「あいさつ週間」に取り組む。 (チェックカードの活用、取り組み成果の共有) 道徳の授業を充実させるとともに、教育活動を通して「きまりやルール」を守る意識を高める。 各取り組みごとに、児童アンケートを実施し学習の深まりを確認する。 	
<p>取組内容④【施策2-4 インクルーシブ教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「共に学び、共に育ち、共に生きる」インクルーシブ教育を推進し、児童の自立を支援するシステム・環境整備を進める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 月1回の部会や個別の課題について検討する場を設定し、教職員間の共通理解を図る。 (議事録の共有) 「学校と親の会」を学期に1回開催し、学校と保護者の連携を図る。(「親の会」の自立を目指す) 近隣の特別支援学校との交流を通して、障がいについての知識、理解を深める。 子サポ委員会で特別支援児童の実態を共有する。 	
<p>取組内容⑤【施策2-5 多文化共生教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な体験活動を通して、児童自らが自主的・自発的に国際理解、多文化共生の学びに取り組む機会を充実させる。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験的な活動を実施する。 芸術文化にふれる機会を年1回以上設ける。 児童が主体的に学べる国際理解・多文化共生教育の場を設定する。 外部講師(民族講師等)を活用した取り組みを年1回以上実施する。 学習資料の保管と有効的な活用をおこなう。 各取り組みのふり返しをおこない、児童の学習の深まりを確認する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立清水小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を35%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を68%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。 ・小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.02ポイント向上させる。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進(各学校の実態に応じた個別支援の充実)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題「子どもたちが主体的に楽しく学べる授業づくり」の実践や公開授業を通して、授業力の向上を図る。 ・「主体的・対話的で深い学び」へとつながる授業実践に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員が1回以上の研究授業等を行う。 ・メンターを中心に、学期1回以上研修を実施する。 ・研究主題に基づいた研修会や討議会を実施する。 	
<p>取組内容②【施策4-3 英語教育の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校で外国語教育を推進する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝のモジュール(10分)を活用して、全学年で外国語活動を実施する。 ・日常的に外国語にふれることができるように環境を整備し、児童が自発的に外国語に親しめるようにする。 	

<p>取組内容③【施策5-1 体力・運動能力向上のための取組の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動する喜びやできる喜びを味わえる活動を通して体力向上を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が日常的に運動に親しめるように環境整備を行う。(走・ボール運動等) ・なわとび、かけあし等の取り組む時間を設定し、体力づくりにつなげる。 ・トップアスリートの招聘や体力サポート事業を活用し、運動への興味関心を広げる。 ・新体力テストの結果を経年で分析することで、体育の学習や運動活動の見直しを図り、児童の体力向上につながる授業内容を工夫する。(記録の分析等) 	

<p>取組内容④【施策5-2 健康教育・食育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童自らが生活習慣を振り返ることができる取り組みを通して、自身の健康意識を高める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健だより等を活用し、児童自らが生活習慣を見直すことができるようにする。 ・学校保健委員会を年1回実施する。 ・保健だよりや委員会活動を通じて、保護者・地域・児童への啓発を行う。 ・給食週間の取り組みを年1回以上実施する。 ・手洗いの取り組みを実施する。(「せいけつ調べ」等で意識を高める。) 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

次年度への改善点

大阪市立清水小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を65%以上にする。 ・時間外勤務時間について、月80時間以上実施する教員をゼロにする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策6-1 ICTを活用した教育の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT等を活用した授業づくりをおこなう。 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・児童用端末の積極的な活用を図る。(教員間での取り組み事例の共有) ・ICTを効果的に活用できる環境整備をおこなう。(持ち帰りルールの作成) ・ICTを積極的に活用した授業実践をおこなう。(校内研究と関連) 	
取組内容②【施策7-1 働き方改革の推進】 <ul style="list-style-type: none"> ・自己の働き方を調整して、効率よく仕事を進め、児童と向き合う時間を作る。 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・学年間で交換授業を積極的におこなう。 ・毎月月末近くに超過勤務時間を確認し、自身の勤務時間の調整を行う。 	
取組内容③【施策8-2 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館開放等、図書ボランティアや読み聞かせボランティアとの連携を図り、読書環境を整備する。 指標 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に応じた本に親しむ機会を工夫する。 ・魅力ある「学校図書館」を目指し、読書環境整備をおこなう。 ・読み聞かせ会、アニメーション等、読書の楽しさを伝える取り組みをおこなう。 ・児童アンケートを実施し、読書意識を高める。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

